

まちづくりチャレンジ協働事業補助金交付申請書

2025年6月17日

NPO 法人
恵庭市市民活動センター運営協議会
理事長 様

団体名 チーム Sou
代表者名 模 愛美
住 所
電 話

恵庭市まちづくりチャレンジ協働事業補助金の交付を受けたいので、恵庭市まちづくりチャレンジ協働事業補助金交付要綱に基づき交付された補助金の交付に関する事務手続き要領第4条の規定により関係書類を添えて次のとおり申請します。

協働事業の名称	みんなで一緒に考えよう！「恵庭のゼロカーボン」～ごみとエネルギー～		
協働事業費の総額	80,000 円	補助金交付申請額	80,000 円
事業実施団体数	①単独・複数（団体数）	本事業での提案回数	1 回目
協働する担当課	生活環境部 ゼロカーボン推進室 廃棄物管理課 担当者：二馬（内線 1134）		
提案事業の内容	実施期間 2025年7月1日から 2025年 12 月31日まで 子どもから大人までを対象とした恵庭市廃棄物処理施設の見学と環境問題を考えるイベントです。今年度は、「エネルギー」と「ごみ」「リユース」について考えることを目的とします。 参加者 40名程度 対象 恵庭市内在住の小・中学生および保護者を中心に、多くの市民の方にも参加いただく 日時 2025年9月23日（火祝）を予定 前半 焼却施設の見学・下水処理場に設置された太陽光パネルの見学 - 太陽光発電を学ぼう エネコップまたは市の職員が子どもにもわかるように太陽光発電の概要を説明し、太陽光パネルのおもちゃを使った工作を行います（定員 20 名）。 後半 ゲームでごみ分別を学ぶ **カードゲーム「Poi」を用いて、恵庭市や他都市のごみ分別を学ぶゲームを実施します。文教大学の学生が支援し、子どもと大人が楽しめるゲームを行います（新しい恵庭のごみ袋利用の目的や啓発を促す）。 サステナ・ステーション ごみ問題と環境の側面から、リユース会を実施します。 - 子ども向けのおさがり（まちスポのおさがり交換会で集めた子どもサイズの衣類）、大人の衣類（市で回収している古着の利用）、学用品（鍵盤ハーモニカ、裁縫道具等）のリユースを行います。 学用品は、期間、回収場所、学用品の指定をして、事前回収を予定しています。 残ったリユース品は、「古着 de ワクチン」の専用回収キットを利用予定。 https://furugidevaccineetsl.jp/about/		



	参加費: 無料 会場: 恵庭市焼却施設 グループワーク…恵庭市焼却施設内の会議室 10:30～: 施設開放: 自由見学およびリサイクルセンターの動画などの視聴 11:00～15:00: リユース会 12:30～: 太陽光発電の概要説明と太陽光パネルのおもちゃ工作 (定員20名) 13:30～: ごみ分別を学ぶゲーム大会 (カードゲーム「Poi」) 15:00～: 参加者との交流 (グループワーク) 16:00: 終了
提案事業の目的及び期待される効果	目的: この事業は、恵庭市廃棄物処理施設の見学と環境問題を考えるグループワークを通じて、参加者が「エネルギー」「ごみ」「リユース」について理解を深めることを目的としています。特に、家庭でできることから始めるために「分別」と「リユース」について考えることを重視しています。 焼却施設での開催により、恵庭市のごみ処理の取組みを知ることや、同行する保護者も含め、多くの市民の皆様が家庭でごみ問題を考えるきっかけをつくり、自分たちの暮らしの中でできる行動を見つけてもらうことを目指します。 期待される効果: 1. 環境意識の向上: 参加者が廃棄物処理施設や太陽光発電の仕組みを学ぶことで、環境問題に対する意識が高まります。 2. ごみ分別の理解促進: カードゲーム「Poi」を通じて、恵庭市や他都市のごみ分別の方法を楽しく学ぶことができます。 3. リユースの実践: リユース会を通じて、使わなくなった物を再利用する方法を体験し、リユースの重要性を理解します。 4. コミュニティの絆強化: グループワークや交流を通じて、参加者同士の絆が深まり、地域社会の連帯感が強まります。 5. 子供の環境教育: 太陽光発電の工作や絵本の読み聞かせを通じて、子供たちが環境問題に興味を持ち、学ぶ機会を提供します。 この事業を通じて、参加者が「ごみの分別」「リユース」「再生可能エネルギー」について学び、家庭や地域での具体的な行動につなげていくことが期待されます。
提案事業の役割分担	申請団体が担う役割 事業の企画・周知・準備・運営・会場の手配、調整など
	担当課が担う役割 事業の企画、周知、見学施設の調整、事業当日の準備・運営など
	連携団体が担う役割
添付書類	(1) 団体概要調書 (様式第2号) (2) まちづくりチャレンジ協働事業補助金収支予算書 (様式第3号) (3) 規約、会則又は定款及び役員名簿等の写し (4) 提案回数が4回目以上の場合は、団体の前年度事業報告、前年度の決算書、本年度の予算書

団体概要調書

団 体 名	(ふりがな) ちーむ そう		
	チームSOU		
代表者氏名	(ふりがな) まき まなみ		
	槇 愛美		
事務所の所在地			
	電 話		FAX
連絡先	※連絡責任者の氏名⇒この申請内容について対応できる方		
	氏 名	(ふりがな) いしがみ かずみ	電 話
		石上 一美	FAX
設立年月日	2015 年 4 月 1 日	会員数	6名
メールアドレス			
団体ホームページ	なし		
団体の目的	近年、コミュニケーション能力の不足、自制心や規範意識の希薄化が問題とされています。このような問題から、人の心の発達や道徳心を養ううえで多大な影響を及ぼし、様々な社会問題に発展していると考え、地域での子育ての重要性、ふれあいやコミュニケーションの大切さを老若男女問わず、様々な手法で伝える社会活動を目的とする。		
主な活動内容及び実績	2015年度：子育てコーチングcafé 他2事業 2016年度：笑！輪！！わっ！！Fes他 2事業 2017年度：笑！輪！！わっ！！Fes他2事業 2018年度：北海道いのちの電話と市民公開講座 2019年度：パワーアップコミュニケーション～みんなでつくるTeam 恵庭 2020年度：わかって安心こわくないオンラインゲームについて他 1 事業 2021年度：若者と一緒に考えよう！恵庭の未来～省I補償とゴミ問題～ 2022年度：子どもたちと一緒に考えよう！～恵庭のごみ問題と環境 ： 若者と一緒に考えよう！恵庭の未来2 2023年度：子どもたちと一緒に考えよう！～恵庭のごみ問題と環境 2023 2024年度：みんなで一緒に考えよう！「恵庭のごみ」～ごみ分別とフードロ		
市や国・道、他の団体から受けている補助金等	・有 [補助金等の名称：] [金額 : 円] ・無		

まちづくりチャレンジ協働事業補助金収支予算書

団 体 名	チーム Sou
協働事業の名称	みんなで一緒に考えよう！「恵庭のゼロカーボン」～ごみとエネルギー～

1. 収 入

（単位：円）

項 目	金 額	説 明（積算等）
補助金	80,000	まちづくりチャレンジ協働事業補助金
合 計	80,000	

2. 支 出

（単位：円）

項 目	金 額	説 明（積算等）
業務委託費	28,000	ゲーム作成および運営、プレゼン（北海道文教大学）
消耗品	24,000	エコおもちゃ（20人分）購入費用、看板作成費等
印刷費	22,500	チラシ、ポスター作製、印刷費
雑費	5,500	リユース品運搬費
合 計	80,000	

備考）補助金の交付対象となる事業に要する経費を記入してください。なお、実績報告書の提出時に「まちづくりチャレンジ協働事業補助金収支決算書（様式第14号）」とともに領収証の写しを添付する必要があります。